

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
臨床発達心理学		(発) 必修 (社.精) 選択	2	2.3	前期
担当教員	研究室	電子メール ID		オフィスアワー	
瀧口 綾	B305	atakiguchi		木曜日 12:10~13:00	
授業の目的・概要	<p><目的>発達心理学で学んだ内容を基礎として、人が出生してから人生の最期を迎えるまでの生涯発達の経緯の中で直面するさまざまな発達の障害や課題、心理的問題を理解し、具体的な支援について知識を深めることを目的とする。</p> <p><概要>各発達段階でみられる心理的葛藤や心理的問題及び臨床心理学的な援助の方法を理解するため、事例検討やグループワークを用いて体験的に学ぶ。</p>				
授業形式・方法	<input checked="" type="checkbox"/> 対面授業 <input type="checkbox"/> 遠隔授業(双方向型) <input type="checkbox"/> 遠隔授業(自主学习) <input checked="" type="checkbox"/> 講義 <input checked="" type="checkbox"/> 演習 <input type="checkbox"/> 実習 <input type="checkbox"/> 実技 <input type="checkbox"/> PBL <input type="checkbox"/> 反転授業 <input type="checkbox"/> ディスカッション・デベート <input checked="" type="checkbox"/> グループワーク <input type="checkbox"/> プレゼンテーション <input type="checkbox"/> 実習・フィールドワーク <input type="checkbox"/> その他 ()				
学習上の助言	講義中に生じた疑問はそのままにせず積極的に質問し学びを深めて欲しい。				
教科書	教科書は指定しない。必要に応じて資料を配布する。				
参考書	よくわかる臨床発達心理学〔第4版〕/編:麻生武、浜田寿美男/ミネルヴァ書房				
外部教材	特になし。				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	人と人がかかわりの中で生きていることを理解し、その上でさまざまな課題について説明できる。			HSU(1)、(2)、WP(1)、(3)	
②	各発達段階に特有な身体的・心理的な特徴や問題を理解し、説明できる。			WP(5)	
③	各発達段階に特有の問題について支援方法を理解し、説明できる。			WP(3)、(5)	
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	臨床発達心理学とはどのような学問かについて学ぶ。	講義	授業内容を復習する。	2	
2	幼児期にみられる心理的問題とその対応について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
3	児童期にみられる心理的問題とその対応について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
4	思春期にみられる心理的問題とその対応について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
5	中年期にみられる危機とその対応について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
6	高齢期にみられる危機とその対応について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	3	
7	発達段階にみられる心理的問題、危機とその対応についてまとめる。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	7	
8	心理教育について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	5	
9	神経発達症群について学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
10	知的能力障害群の理解と支援の基本を学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
11	自閉スペクトラム症 (ASD) の理解と支援の基本を学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
12	注意欠如・多動症 (ADHD) の理解と支援の基本を学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
13	限局性学習症 (SLD) の理解と支援の基本を学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
14	運動症群・他の神経発達症群の理解と支援の基本を学ぶ。	講義・演習	前回の授業に関するコメントを踏まえ復習する。	4	
15	これまでのまとめと総括を行う。	講義	これまでの授業内容を復習する。	7	
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照				

【2022 年度/専門科目領域/専門基礎科目群/福祉学系】

総合評価割合 (%)		達成度評価					合計
		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	
		0	70	0	0	30	100
総合 力 指 標	知識・技術力	0	20	0	0	5	25
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0
	取組みの姿勢・意欲	0	20	0	0	10	30
問題を発見・解決する力		0	10	0	0	0	10
評価のポイント			評価の実施方法と注意点				フィードバックの方法
評価方法	行動目標						
試験	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
レポート	①	✓	レポートのテーマは授業中に発表する。 評価は、内容（聞かれたことに答えているか、自分の意見を述べているか）、文章の構成、誤字・脱字等で行う。				提出されたレポートは全体の総評を行い、各自コメントを付して返却する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
成果発表	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
ポートフォリオ	①						
	②						
	③						
	④						
	⑤						
	⑥						
その他	①	✓	毎回授業の終わりにリアクションレポートの提出を求める。 理解したこと、疑問に感じたこと及び自分の考えなどについて記述してもらおう。				次回の講義の初めに、前回のリアクションレポートについてのコメントし解説する。
	②	✓					
	③	✓					
	④						
	⑤						
	⑥						
備 考							
他 担 当 教 員							
教員の実務経験							
実践的授業の内容							
そ の 他		<ul style="list-style-type: none"> ・大学が公表している感染症対策および教員が示す授業方法を遵守すること。 問題がある場合は面接授業の参加を認めない。 ・なお、今後の新型コロナウイルス感染症の社会情勢によって再度シラバスの変更が行われることもある。 					